

介護支援専門員研修 演習ファシリテーター候補者推薦に当たってのQ & A

令和4年5月時点  
東京都福祉保健局介護保険課

Q 1 . 演習ファシリテーターとはどのようなことをするのか。

A 1 . 演習の際に各グループに配置され、グループ演習での議論に対して中立な立場を保ちながら話し合いに介入し、議論をスムーズに調整しながら合意形成や相互理解に向けて深い議論がなされるよう調整する役割を担っていただきます。

Q 2 . ファシリテーターを引き受けた場合に、どの程度時間がとられるのか。

A 2 . 本来業務の妨げにならない程度で構いませんが、年 2 回以上参加可能な方の推薦をお願いいたします。日程調整等は各研修実施機関が行います。

Q 3 . 事前にオリエンテーション等はしてもらえるのか。

A 3 . 事前にファシリテーター向けの研修会等を研修実施機関が実施する予定です。

Q 4 . 謝金はでるのか。

A 4 . 研修実施機関がお支払いします。

Q 5 . どのような研修があるのか。

A 5 . 対象研修及び研修実施機関は以下のとおりです。

研修名	研修実施機関
介護支援専門員実務研修 介護支援専門員更新研修 介護支援専門員再研修 介護支援専門員現任研修（専門研修 課程）	公益財団法人 東京都福祉保健財団
介護支援専門員現任研修（専門研修 課程）	公益財団法人 総合健康推進財団
主任介護支援専門員研修 主任介護支援専門員更新研修	特定非営利活動法人 東京都介護支援専門員研究協議会

Q 6 . 演習は全てオンラインなのか。

A 6 . 上記 A5 のすべての研修について、演習をオンラインで行いますが、一部コースについては集合方式で演習を行う予定です。このため、ファシリテーターをお願いする演習は、オンライン方式・集合方式どちらの場合もありえます。

Q 7 . オンライン演習はどのように行うのか。

A 7 . オンライン研修の演習は、Web 会議ツール ( Zoom ) を使用して行い、研修受講者全体がまとまって講師からの説明や全体発表等を行うほか、受講者がグループ ( ブレイクアウトルーム ) に分かれてグループディスカッションを行います。

Q 8 . オンライン演習において、ファシリテーターにはどのような役割が求められるか。

A 8 . グループディスカッションにおいて、集合研修と同様、各グループの話し合いへの介入等を行い、受講者の発言を促し、議論を進行して、論点や結論を整理することが必要となります。また、研修によっては、受講者 ( 書記役 ) が行う、グループディスカッションの記録作成や、記録や資料等のグループ内に画面共有がうまくいかない場合に支援する役割を担う場合もあります。このため、パソコン及び Web 会議ツールの操作に対する習熟も必要となります。

Q 9 . オンライン演習にファシリテーターとして参加するために必要となる機器や環境はどのようなものか。

A 9 . オンライン演習のファシリテーターは、一般的にカメラ付きパソコン ( カメラは外付け可 )、ヘッドセットまたはイヤホンマイクを使用し、また雑音が入らない個室等からの参加が必要です。必要な機器や環境については、ファシリテーターご自身でご用意いただく ( 勤務先の機器等を使用することを含みます。 ) ほか、研修によってはファシリテーターに会場に集合いただき、研修実施機関が用意したパソコン等を使用して参加する場合もあります。